

承認番号	3438
研究課題名	機能性ディスぺプシアにおける、胃液中エクソソーム由来miRNA発現量の網羅的解析
研究の意義・目的	機能性ディスぺプシア (functional dyspepsia; FD) は消化器症状があるにもかかわらず内視鏡検査で明らかな異常がみつからない、原因不明の疾患です。胃液中のエクソソームという細胞外小胞に含まれるマイクロRNAという遺伝情報を解析し、FDに特徴的な変化を明らかにすることを目的とします。特徴的な所見を見出すことにより、病態の解明や診断、治療法の開発に役立つことが見込まれます。
研究を行う期間	承認後～2025年3月31日
研究対象者の範囲	2015年7月16日～2016年2月13日にMedCity21での人間ドックを受診された方のうち、上部消化管内視鏡検査と抗ピロリ菌IgG抗体測定を行い、かつバイオレポトリ構想と遺伝的解析研究への包括的同意をして頂いた受診者様が対象です。
お願いする内容	<p>■大阪市立大学医学部附属病院のみで研究いたします。</p> <p>胃液サンプルと健診データを使用させていただきます。FD群と非FD群において、胃液中のエクソソームに含まれるマイクロRNA発現量や、内視鏡所見や問診票などの健診データを比較検討します。</p>
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学 田中史生
この研究を行っている施設（共同研究機関）	本研究は当院のみで行い、共同研究機関はありません。
代表施設のURL	https://www.med.osaka-cu.ac.jp/shoukaki/
研究の成果を公表する方法	研究結果を国内外の消化器領域を中心とした医学学術雑誌や学会にて公表します。その際、個人情報は公表しません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	電話：06-6645-3811 大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学 担当者：田中 史生